

施策名：豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造

事業名	担当課・室名	ページ
おおいた生物多様性保全・普及啓発事業	自然保護推進室	1 / 7
おおいたジオパーク推進事業	自然保護推進室	2 / 7
ユネスコエコパーク推進事業	自然保護推進室	3 / 7
(公)海岸保全事業(河川)	河川課	4 / 7
(公)港湾環境整備事業	港湾課	5 / 7
県営都市公園里山利活用推進事業	公園・生活排水課	6 / 7
県営都市公園施設整備事業(県営都市公園長寿命化対策事業)(県営都市公園施設整備事業)	公園・生活排水課	7 / 7

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	おおいた生物多様性保全・普及啓発事業	事業期間	平成22年度～平成28年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承 ～おおいたうつくし作戦の推進～		
			施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造				
総合評価	<b>A</b>	<b>終了</b>	事業実施課(室)名	自然保護推進室		評価者	自然保護推進室長 山崎 吉明	

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	豊かな自然に恵まれた本県でも、開発等による土地利用の変化や外来種による生態系への被害など、生物多様性の危機は進行している。また、生物多様性の保全の必要性への県民理解は不十分である。 本県の豊かな自然を将来につなぐため、平成28年3月、「第2次生物多様性おおいた県戦略(2016-2020)」を策定した。	事業の目的	本県の豊かな自然や生物多様性の恵みを将来にわたり享受していくため、「第2次生物多様性おおいた県戦略(2016-2020)」に基づき保全施策を実施する。
-------	--	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①希少野生動植物の戦略的保全 希少野生動植物等のモニタリング調査及びレッドリストの作成(1団体・9種) 委託先：大分生物談話会	①	3,000	総コスト	27,977	27,223	
②生物多様性の普及啓発 おおいた保全地域検討委員会の開催(2回)	②	2,913	事業費	7,977	7,223	
③奥山地域の植生モニタリング及び対策検討 ニホンジカによる植生の食害状況等の調査及び希少植物等の保全策の検討	③	1,500	(うち一般財源)	1,922	4,167	
④地域で取り組む外来生物対策 アライグマ防除講習会講師派遣	④	768	人件費	20,000	20,000	
	計	8,181	職員数(人)	2.00	2.00	

活動指標	指標名(単位)		達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(28年度)	評価割合	指標名(単位)		達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(28年度)	評価割合	評価
	希少野生動植物のモニタリング調査種数〔累計〕(種) 平成28年度で終了		目標値		9		9		9	37%	食害状況等の調査地域数(箇所) 平成28年度で終了		目標値	4	4		
		実績値		9		9	9				実績値	4	4		4		
		達成率		100.0%		100.0%	100.0%				達成率	100.0%	100.0%		100.0%		
おおいた保全地域検討委員会の開催数(回)		目標値		2	2		2	36%	アライグマ防除講習会講師派遣回数(回)		目標値	2	2		2	9%	
		実績値		2	2		2				実績値	2	3		3		
		達成率		100.0%	100.0%		100.0%				達成率	100.0%	150.0%		150.0%		

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(28年度)	評価	事業の成果
アライグマ防除計画 確認済み市町村数(市町村)	目標値		17	17		17	a	アライグマ生息の可能性が低い姫島村を除く17市町のうち、16市町においてアライグマ防除計画が策定され、県内のアライグマの防除体制が着実に構築されている。
	実績値		16	16		16		
	達成率		94.1%	94.1%		94.1%		

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代へ残したい地域の選定及び保全に向けた県民意識の醸成</li> <li>自然保護活動への県民理解の向上及び活動団体のネットワークづくり</li> </ul>	今後の方向性	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">終了</span> <span>継続・見直し</span> <span>例外的に継続</span> <span>廃止</span> </div>
		今後の事業方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代へ残したい地域の選定及び普及啓発</li> <li>自然保護団体の活動状況の報告会の開催等による交流の場の提供</li> <li>希少野生動植物の保全については、更なる充実を図るため「生物多様性保全推進事業」に組み替えて引き続き事業を実施</li> </ul>

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	おおいたジオパーク推進事業		事業期間	平成23年度～平成 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承 ～おおいたうつくし作戦の推進～	
					施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造	
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	自然保護推進室	評価者	自然保護推進室長 山崎 吉明	

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	学術研究の充実や情報発信の強化、ガイド養成・スキルアップへの対応等、日本ジオパーク認定の際に助言された課題の解決及び平成29年度の再認定審査に向けた体制や基盤整備が課題となっている。	事業の目的	本県に多数存在する学術的価値が高い貴重な地形・地質遺産を地域資源として活用するジオパーク活動を持続可能な取組とし、地域の活性化を図る。
-------	---	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①再認定審査対応の強化 ジオシンポジウムの開催、ガイドのスキルアップ、拠点施設・解説板等整備 等	①	8,000	総コスト	39,000	34,744	40,000
②ジオパークの情報発信 「自然というフォーラム」の開催 (H29.2.12) 委託先：(株)マイダスコミュニケーション	②	6,000	事業費	19,000	14,744	20,000
③地域資源(動植物、地質鉱物)の調査 県内の貴重な動植物について、悉皆調査を行い、天然記念物としての学術的価値を検討 委託先：九州建設コンサルタント(株)	③	6,000	(うち一般財源)			
	④		人件費	20,000	20,000	20,000
	計	20,000	職員数(人)	2.00	2.00	2.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	ジオガイド養成講座開催(回)	目標値	28	28	28			40%	天然記念物緊急調査指導委員会開催(回)	目標値	2	2	2		
	実績値	28	48						実績値	2	2				
	達成率	100.0%	171.4%						達成率	100.0%	100.0%				
ジオシンポジウム等開催(回)	目標値	3	3	3			30%		目標値						
	実績値	3	3						実績値						
	達成率	100.0%	100.0%						達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
ジオガイドの活動回数(回)	目標値	30	48	66			a	様々な情報発信等により本県のジオパーク活動が認知され始めており、地域住民をジオガイドに養成したこと等で、ジオパークの普及及び受入体制の強化を図った。
	実績値	68	83					
	達成率	226.7%	172.9%					

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 姫島、豊後大野両地域と連携した持続可能なジオパーク活動の充実・強化</li> <li>・ ジオシンポジウムの内容・あり方等多様な企画の検討・支援</li> <li>・ ガイドの養成やスキルアップ、ガイド組織等受入体制の整備</li> <li>・ 地域の振興に必要であるジオパーク活動に引き続き取り組むため再認定審査の受審</li> </ul>	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 姫島、豊後大野両地域でのジオパーク活動が持続可能なものとなるよう、受入体制整備等の支援を実施</li> <li>・ 学術研究者や地質愛好家等にジオパークの魅力を間断なく情報発信</li> <li>・ 再認定審査に向けた課題解決への支援</li> </ul>				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	ユネスコエコパーク推進事業	事業期間	平成26年度～平成 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承 ～おおいとうつくし作戦の推進～	
				施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造	
総合評価	<b>A</b>	継続・見直し	事業実施課(室)名	自然保護推進室	評価者	自然保護推進室長 山崎 吉明

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	大分・宮崎両県及び国、6市町による協議会を設置し、登録申請に必要な資料収集や文献調査を実施した。一方で調査研究体制の希薄さ及びユネスコエコパーク登録に向けた一層の機運醸成、広範囲な周知等が課題となっている。	事業の目的	祖母・傾地域一帯をユネスコエコパークとして登録することで祖母・傾地域の豊かな地域資源に改めて目を向けるきっかけをつくり、環境保全のための研究・活動の推進、自然と共生した地域の振興を目指す。
-------	---	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①大分県推進協議会負担金(県1/2、関係3市1/2) 登録申請関係経費 各省庁協議、公式ヒアリング出席、学術部会開催等 広報周知活動経費 シンポジウムの開催、フォトコンテスト開催、普及啓発グッズ等制作 推進協議会関係経費 大分県協議会開催(3回)、大分・宮崎両県協議会開催(1回)、両県学術部会(3回)	①	3,221	総コスト	15,563	13,166	36,237
	②		事業費	5,563	3,166	26,237
	③		(うち一般財源)	5,563		
	④		人件費	10,000	10,000	10,000
	計		3,221	職員数(人)	1.00	1.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	普及啓発イベントの開催(回)	目標値		2	3		100%		目標値						a
		実績値		2					実績値						
		達成率		100.0%					達成率						
		目標値							目標値						
		実績値					実績値								
		達成率					達成率								

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	シンポジウム参加者数(人)	目標値		200	250		a	ユネスコ国内委員会MAB計画分科会での国内推薦決定を受け、正式にユネスコへ申請書を提出した。また、国内推薦決定記念シンポジウムを開催することで、地元機運の醸成を図った。
		実績値		250				
		達成率		125.0%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>貴重な生態系の持続的な保全</li> <li>自然と共生した持続可能な発展</li> <li>学術的研究や調査研修への支援</li> </ul>	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>ユネスコエコパークエリア内の研究調査体制の充実、実態調査データの蓄積</li> <li>ユネスコエコパークの制度自体の知名度向上、B R地域の地域資源等の情報発信の強化</li> <li>登録を契機に推進協議会等の体制の整備や取組を具体化するための行動計画の策定</li> </ul>				

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-9

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	(公) 海岸保全事業 (河川)	事業期間	昭和 31 年度～平成 年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承 ～おおいたうつくし作戦の推進～
			施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造		
総合評価		事業実施課 (室) 名	河川課		評価者	河川課長 後藤 利彦

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	近年、強い台風の来襲により越波や飛沫が発生し、海岸保全施設の被害および海岸に隣接した重要幹線道路の通行止め等が発生している。また、台風や集中豪雨により発生したごみや流木が漂着し、快適な海岸利用の支障となっている。	事業の目的	高潮 (うねり) からの防護及び海岸利用の配慮を図るため、海岸保全施設の整備を行う。
-------	--	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	コスト	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)
① (公) 海岸環境整備事業 安岐海岸 沖に人工リーフ造成 (4基) 浜アクセス箇所に緩傾斜護岸工実施 (3基) 国道213号沿いに飛砂対策工実施 (L=820m)	総コスト	199,440	75,247	83,689
	事業費	199,440	75,247	83,689
	(うち一般財源)	11,993	5,047	5,229
	(うち繰越額)	37,002	18,975	
	人件費			
	職員数 (人)			

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名 (単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果	
			目標値	13,286	13,286	13,736			
			実績値	13,110	13,286				
			達成率	98.7%	100.0%				

a  
台風・高潮・波浪による被害を防ぐために海岸保全施設の整備を進めることにより、地域住民の生命・財産の保全と、海岸に隣接した重要幹線道路の通行の確保が図られた。  
また、海岸保全施設の整備により防護、環境、利用といった調和のとれた海岸となり、海岸の観光資源としての機能を増進した。

# 事務事業評価調査

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-9

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	(公) 港湾環境整備事業	事業期間	平成 21 年度～平成 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいとうつくし作戦の推進～
総合評価		事業実施課(室)名	港湾課	施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造
				評価者	港湾課長 梶原 文男

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	地域住民等が港湾や水に親しむことができる緑地等施設の整備率は依然として低い。また、近年は地域住民の環境保全に対する意識が高まっており、環境に配慮した緑地等施設の整備を着実に進めることが課題である。	事業の目的	港湾区域内の環境を改善し、地域住民等の憩いの場として緑地等施設の整備を行うことで、港に賑わいを生み、地域住民等が港湾とふれあう場を提供する。
-------	--	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
① (公) 港湾環境整備事業 別府港 : 緑地等施設整備予定箇所の埋立を実施 津久見港 : 防砂フェンスの設置、防草処理の実施	総コスト	74,489	407,211	219,280
	事業費	74,489	407,211	219,280
	(うち一般財源)	4,322	20,015	9,655
	(うち繰越額)		96,885	
	人件費			
	職員数(人)			

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	港湾区域内の環境改善及び憩いの場として必要な緑地等施設の整備面積(ha)	目標値	24.5	25.1	25.1			
	実績値	24.5	25.1					
	達成率	100.0%	100.0%					

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	県営都市公園里山利活用推進事業		事業期間	平成26年度～平成 年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいとうつくし作戦の推進～			
						施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造			
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課(室)名	公園・生活排水課		評価者	公園・生活排水課 藤崎 裕司			

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	大分県環境基本条例に基づき、県民の自然環境保全への意識の醸成を図るため、県営都市公園の利活用を推進しているが、県営都市公園である大分スポーツ公園には豊かな里山が残されているにもかかわらず、県民に利活用されていない。	事業の目的	大分スポーツ公園の里山で県民の自然体験や環境学習等の機会を設けることにより、その利活用を図るとともに、県民参加による里山再生の推進と自然環境保全への意識の醸成を図る。
-------	---	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①NPO等への委託 委託団体を県が公募(関係団体に郵送、県HPほか3HPに掲載) 自然体験や環境学習等の企画・運営を受託団体が実施 (年7回開催、計400人以上の参加者募集) 〔27年度まではハーモニーパークにおいても実施 28年度からは大分スポーツ公園のみで実施 ※28年度からはハーモニーパークでは指定管理者が本事業を引き継ぎ実施〕 委託先：造園修景・環境カウンセラー協会大分共同体 (一財)日本造園修景協会大分県支部+NPO法人大分環境カウンセラー協会)	①	1,725	総コスト	4,921	3,746	3,904
	②		事業費	2,921	1,746	1,904
	③		(うち一般財源)			
	④		人件費	2,000	2,000	2,000
	計		1,725	職員数(人)	0.20	0.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	大分スポーツ公園開催分「自然観察会、木工クラフト」等参加申込総数(人)	目標値		400	400	506		100%	目標値						
実績値			932	506			実績値								
達成率			233.0%	126.5%			達成率								
目標値									目標値						
	実績値							実績値							
	達成率							達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
参加人数(人)	目標値		400	400	400		a	参加人数の目標を達成するとともに、参加者の満足度は非常に高かった。また、大分スポーツ公園における自然とのふれあいや保全活動に積極的な意見・感想が多く寄せられており、参加者の自然環境保全への意識の醸成を図ることができた。
	実績値		354	401				
	達成率		88.5%	100.3%				

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
・参加者の層を広げて事業効果を高めるため、よりバリエーション豊かで魅力ある活動を実施する工夫が必要	今後の事業方針 ・委託団体の採択における評価項目のうち「独創性・工夫」を重要視することで、よりバリエーション豊かで魅力ある提案を促進				

# 事務事業評価調査

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-9

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	県営都市公園施設整備事業 (県営都市公園長寿命化対策事業) (県営都市公園施設整備事業)	事業期間	昭和 63 年度～平成 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいとうつくし作戦の推進～
				施策区分	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造
総合評価		事業実施課(室)名	公園・生活排水課	評価者	公園・生活排水課長 藤崎 裕司

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県営都市公園は建設から相当の期間が経過し、施設の老朽化が進んでいる。一方、利用者の公園に対するニーズは多様化しており、快適で安全安心に利用できる公園の整備が課題である。	事業の目的	県営都市公園利用者の安全性、快適性の向上を図るため、施設整備を実施する。公園施設の安全性確保や施設の延命化、ライフサイクルコスト削減を目的に策定した『公園施設長寿命化計画』に基づき、更新時期を迎えた公園施設の計画的な更新を実施する。
-------	--	-------	--

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①(公) 県営都市公園長寿命化対策事業 大分スポーツ公園 大分銀行ドームアリーナ照明更新、大洲総合運動公園 テニスコートA 照明施設更新 等 長寿命化計画策定調査(2巡目調査：大洲総合運動公園、高尾山自然公園) ②県営都市公園施設整備事業 大分スポーツ公園 他3公園施設補修等 大分銀行ドーム芝張替、硬式野球場グラウンド打起し、エレベータ手摺ベルトチェーン交換、暗渠排水施設改修 等	総コスト	171,007	536,657	587,236
	事業費	171,007	536,657	587,236
	(うち一般財源)	30,026	54,435	149,196
	(うち繰越額)	27,604	100,002	9,173
	人件費			
職員数(人)				

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
	施設利用者数(千人)	目標値		2,035	2,035	2,035			
		実績値		1,891	1,831				
		達成率		92.9%	90.0%				
a 前回の更新から26年経過し老朽化した大洲総合運動公園テニスコートAの照明を更新したことで、夜間利用者からボールが見やすくなったとの意見が寄せられるようになった。 今後も様々なニーズに応えるため、県民の声の適切な把握に努め、必要な公園施設を整備していく。									

[平成28年度実績]

〈県営都市公園施設整備事業〉

(単位：千円)

公園名	工種	実施工事費
大洲総合運動公園	硬式野球場グラウンド打起し、園内ベンチ改修、サイン改修、道路隅切り、暗渠排水工事、テニスコート照明補修設計	11,454
高尾山自然公園	園内ベンチ改修	81
ハーモニーパーク	エレベータ手摺ベルトチェーン交換、汚水処理施設改修検討(委託)	4,838
大分スポーツ公園	ドーム芝張替、テニスコート周辺排水設置、ドーム芝改修検討(委託)、大銀ドームLAN調査(委託)、特高受電設備試験(委託)、	20,129

〈県営都市公園長寿命化対策事業【現年】〉

(単位：千円)

公園名	工種	実施工事費
大洲総合運動公園	テニスコートA照明施設更新	33,110
大分スポーツ公園	大分スポーツ公園アリーナ照明更新	356,577
大洲総合運動公園 高尾山自然公園	長寿命化調査	10,466

〈県営都市公園長寿命化対策事業【繰越】〉

公園名	工種	実施工事費
大分スポーツ公園	大分銀行ドーム 照明施設更新	9,173